

## ■ ■ ■ 11月のレクリエーション・ゲーム ■ ■ ■

### 【指導者の方へ】

紅葉の季節です。ハイキングに出かけたり、近くの公園などに遊びに行くのもいいでしょう。読書の秋ですから、仏典童話の読み聞かせなど、ゆっくりと過ごすのもいいですね。低学年から楽しめるジャンケンゲームを少し紹介します。

### ☆ジャンケンで集合

リーダーの合図で、全員でジャンケンをする。  
出した手の同じ仲間が集まる。  
同じ手の仲間でも5人組とかグーとパーとチョキの3人組など、変化を付けて楽しもう。  
2人組にして終わり。



### ☆ジャンケンチャンピオン

2人でジャンケンをして、負けた人は、勝った人の後ろに繋がる。  
次に2組同士がジャンケンをし、負けた組は勝った組の後ろにつく。  
そして、次々とジャンケンをしていく。最後の2組で決戦、長い列になる。  
一番先頭がチャンピオン。

### ☆ジャンケン・フルーツバスケット

ひとりひとりに「いちご」「りんご」「バナナ」などの果物の名前を付ける。(3種類くらい。人数が多い場合は種類を増やす。)

初めはリーダーが円の中心に立ち、果物の名前を一つ言う。  
言われた果物の子どもは席を移動する。その間にリーダーが席に割り込む。  
ただし席を移動する時、必ず誰かとジャンケンをする。  
勝つと席に座れるが、勝つまで座れない。  
鬼もジャンケンし、最後まで残った人が、次の鬼となりゲームを続ける。  
握手をしてからジャンケンするというのも、楽しい。